

事務事業名	子育て世代包括支援センター事業	担当	健康福祉部 こども家庭課 母子健康係	
政策名	02 「笑顔づくり」～安心と元気アップ!～	施策名	9	子育て支援の充実
成果指標	名称	単位	2 年度実績	
	妊娠届け面接相談を受けた妊婦数(転入含む)	人		541
	面接相談を実施した割合	%		100
	支援プランを策定した者の割合	%		100
事業概要	子ども・子育て支援法の利用者支援事業・母子保健型として平成28年度より開設。 主に妊産婦及び乳幼児の実情を把握し、妊娠・出産・子育てに関する各種の相談や妊婦の支援プランの策定、地域の保健医療・福祉に関する機関との連絡調整を行い、母子保健施策と子育て支援施策との一体的な支援を提供して、妊産婦及び乳幼児の健康の保持増進に関する包括的な支援を行い、妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援体制を構築する。令和2年度より専任の母子保健コーディネーター(保健師等)を配置し、全妊婦の支援プラン(すくすくプラン)を策定する。 対象者: 妊産婦及び乳幼児並びにその保護者 事業内容: 妊産婦並びに乳幼児の実情の把握(妊婦の全数相談面接、乳幼児健診での全数把握)、妊娠・出産・子育てに関する各種相談、全数支援プランの策定、保健医療または福祉の関係機関との連絡調整。			
2 年度実績・成果・課題	【R2年度実績】 ・妊娠届出をした全ての妊婦、さらに転入妊婦への全数面接を実施: 541人 ・全妊婦に対して「すくすくプラン」の策定: 541人 ・支援調整会議による計画策定・進行管理が必要な要支援妊婦: 109人(21.4%) ・支援調整会議: 12回 子育てサポート連携会議: 1 2回 子育て世代包括支援センター連絡会議: 1回(書面) 【成果及び課題】 ・若年、未婚、妊娠葛藤、精神疾患、家族関係、経済的問題、虐待・養育支援歴等々の問題を抱える妊婦が増えており、妊娠届出時の全数面接指導による早期発見、アセスメントによるニーズに対応した支援計画の策定により、妊娠期から丁寧な継続的支援に繋がっている。複雑・多様化した問題の解決支援のため、資質の向上を図るとともに、医療や児童福祉部門、子ども家庭総合支援拠点との連携の充実を図っていく。			
今後の方向性と具体策	<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的絞込み <input type="checkbox"/> 目的拡充 <input type="checkbox"/> 事業統合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 予算増大 <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) 【具体的な改善案】			